



もったいないONE ACTION! ～鉛筆やクレヨンから始めるアップサイクルとリユース活動～

【環境社会実験】未来プロジェクトin仙台2023～環境の芽～



身近なモノで伝えたい！！

小さい子どもから大人まで取り組める
簡単な環境問題活動をやろう！！

市の環境局家庭ごみ減量課の取組みについて勉強し、
この課が掲げている

『モッタイナイONEACTION！！！！』

につながる活動ができないか？
を考えました。

わかる本
2022-23
スリーアール



1.背景

活動のきっかけは、私たちが団体で実施している「お下がり会」で持ち込まれた、学用品からでした。



Reuse

幸せの町35が考えるモッタイナイONE ACTION！！

小さい子ども達と一緒に、環境問題に取り組める活動が何かあるか！？

- 身近なモノ、日常で使っているモノであること
- 小さい子どもでもできる活動であること
- 親子で楽しく取り組める活動であること
- 子ども達が活動したことが子ども達に返ってくる活動であること
- 循環するような活動であること



『鉛筆やクレヨンからはじめるアップサイクル&リユース活動！！』

鉛筆やクレヨンの回収を通して生まれる

- ①行動変化
- ②アップサイクル&リユースのリアル体験
- ③鉛筆やクレヨンの活用循環

を地域につくるONE ACTION！！

2.目的

親子で感心を持って取り組めるアップ
サイクル&リユース活動を目指す
～再利用の意識付け～



①行動変化

～意識した行動のきっかけ作り～

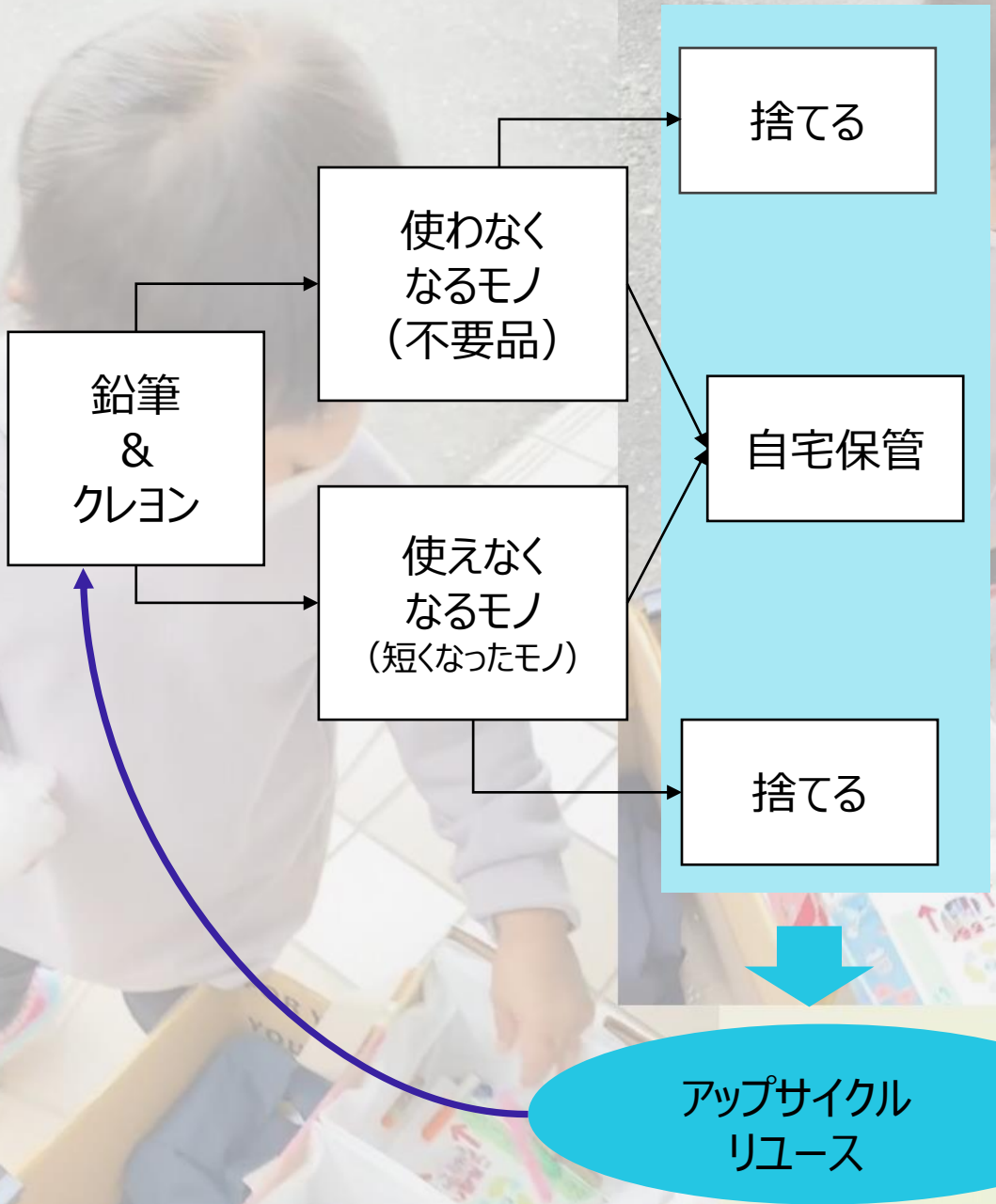
子ども達が使っている鉛筆やクレヨン、
不要な鉛筆やクレヨンを回収BOXに入れる！
アップサイクル&リユース活動の第一歩をつくる
子どもが取り組む事で、親も一緒に参加できる



②アップサイクル& リユースのリアル体験 ～形を変えて返ってくる体験～



もう使えない！と思っていた短くなった鉛筆やクレヨン。形を変えて自分の元に返ってくる、捨てる選択しかなかったモノが、自分の元に返ってくるリアル体験の場をつくる



③鉛筆やクレヨンの活用循環 ～回収から循環～

回収した鉛筆やクレヨンは、また子どもが使えるものとして循環させることで、ごみの増加を減らせる取組みができることを伝える場をつくる

3. 取り組み と 実施計画

活動を広めて行くために行う3つのACTION！

- ① 地域に広める活動
- ② リアル体験してもらう活動
- ③ 親子で取り組んでもらう活動



①地域に広める活動

現在、共助している幼稚園の他、児童館、他幼稚園の施設に協力してもらい、回収BOXを常時設置してもらう



《実施期間》

- 7月～3月
- 10月、11月、1月、2月、
鉛筆やクレヨンの回収呼びかけに幼稚園、
他施設の訪問

《意識付け》

- 小さい子どもでもできる環境問題の取組みがあることを伝える
- 訪問時には、声かけをして次もまた持ってきてもらえるようにコミュニケーションをとる
- 捨てないで再利用する選択もあることを伝える

②リアル体験してもらう活動

回収した鉛筆やクレヨンを使ったクラフト会を実施
クラフト会から生まれる子育て世帯の居場所作りと
口コミから広がるアップサイクル&リユース活動の輪づくり

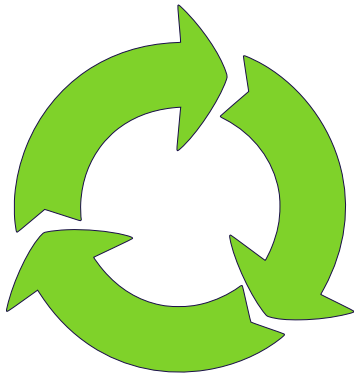
《実施期間》

- 7月～3月
- 7月、8月、10月、1月、2月

《意識付け》

- 捨てられるはずの鉛筆やクレヨンのアップサイクル方法をつたえる
- 身近なモノからできることや、使う期間を延すこともごみを減らす活動につながることをつたえる
- こんな活動いいね！楽しいね！と感じてもらう





③親子で取り組んでもらえる活動

親子イベントに参加し、鉛筆やクレヨンの
アップサイクル&リユースの活動紹介と回収BOX設置
捨てない選択もあるということを知ってもらう

《実施期間》

- 7月～3月
 - 7月、9月、10月、1月
- ※声がかかれば他でもイベント出店予定

《意識付け》

- 親子で楽しみながらできる環境問題活動があることを伝える
- アップサイクル品、リユース品を手にとって見てもらう

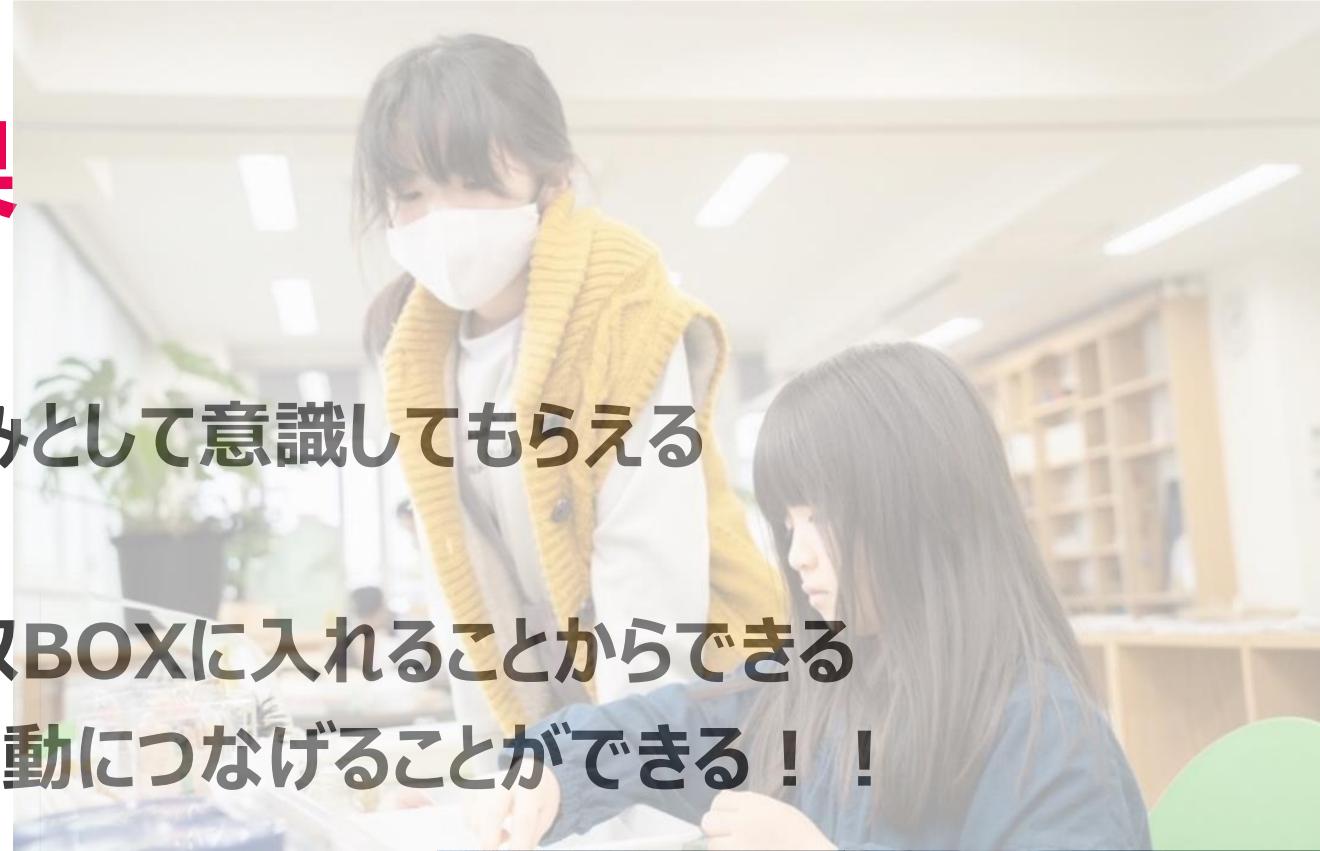
4. 私たちが考える 波及効果

自分たちの使っている身近なモノから
でも、見方を変えれば環境問題を
意識した活動ができる！！



①②③からの波及効果

- 小さな子どもから参加できる取組みとして意識してもらえる
- 不要になった鉛筆やクレヨンを回収BOXに入れることからできる「モッタイナイONE ACTION！」活動につなげることができる！！
- 回収した鉛筆やクレヨンを使ったクラフト会に参加することで、アップサイクル&リユースについて学べる。



- 捨てる選択からアップサイクル&リユースする選択を持てるようになる。
- 子育て世帯の居場所にもなり、そこから活動が広がることもある。
また、参加した方がSNSや口コミ発信することで広げる活動できる。



活動と体験をとおして

鉛筆やクレヨンの回収活動することで、
なぜ回収しているの？ 回収して何にするの？
興味をもってくれる子どもが増える！！

回収した鉛筆やクレヨンは形を変えて
また使えるモノになるんだよ！！！！

これが、『アップサイクル&リユース』っていう活動
なんだよ！と
わかりやすく伝えることができる！！

翌年以降の活動 への取組み

この活動は継続が大切！

小さい子どもから参画できる活動として、
この活動の輪をもっと広めて行きたい。

そして、もっと地域に根ざした環境活
動ができるように地域の団体、

幼稚園、小学校、児童館などに声か
けをしていけたらと思います。



翌年以降の展望

不要になった鉛筆とクレヨン回収してみれば、沢山家庭にあることが判明することもある！今後も、この活動を通して生まれる子育て世帯の居場所作りと口コミから広がるアップサイクル&リユース活動を継続させて行きたい。継続することで、子ども達に「モッタナイ意識」と「これは何かに使えないかな？」という考えを自主的にもてる地域を目指していきたい！

《団体コラボ》

- 学用品の環境問題に取り組んでいる学生の団体とつながりたい。

そして、今の学生さんの取り組みも勉強させていただき、私たちの活動の幅を広げていきたい

《制作物について》

- 回収の数が多くなってきたら障害者施設と連携した活動ができたらと思います
- クラフトの1つである鉛筆こけしのネーミングが決まってないので公募などで決めるような活動も今後考えていきたい





ご静聴ありがとうございました

